

富士河口湖町立 教育センターだより

No.22



平成29年2月24日 文責 遠山 榮子



第5回研究員会

2月21日(火)に、本年度最後の研究員会(富士山学習研究会)が行われ、次の3つの内容で進められました。

- *1 今年度の反省について、
- *2 センタープログラムについて

*3 研修 富士山教育について

「富士山教育を通して地域に誇りをもつ子ども達に」

講師 吉田小 梶原拓也先生

とりわけ、*3については、研究員会での富士山教育の取り組みと12月の授業公開、1月末の富士宮市の富士山学習発表会への参加、そして今回の研修と、富士山教育に対して着実に学習を深めていくことができました。梶原拓也先生からは、「地域を学ぶ、地域で学ぶ、地域から学ぶ、そして地域へ発信する」という流れを、どのように学校として学年として組み立て、地に着いたものにしていくのか具体的な取り組みを示していただきました。本町の富士山教育に大きな刺激となりました。ありがとうございました。



来年度に向けて出された意見

- 富士山学習の継続研究 授業研究・富士宮管外視察研修
臨地研修
- アンケート調査の実施 集計の工夫
- 新センタープログラム開発
- 次期学習指導要領への対応



研究員の先生方のご協力のもと、無事、5回の研究員会を終えることができました。1年間ありがとうございました。なお、出されたたくさんの貴重なご意見につきましては、新年度の研究員会で検討し、実施していきたいと思えます。

「平成29年度 富士河口湖町 富士山学習全体計画 年間指導計画」配布

各学校の力を結集して、町の富士山学習全体計画・年間指導計画が4冊目の冊子となり、配布の運びとなりました。富士山学習は、平成24年度の新規事業として立ち上げられ、平成25年2月には、小立小においてモデル授業の実施、同年6月には富士山が世界遺産となり、平成25年度から、各校で地域の実情や発達段階に合わせ、関連機関と連携しながら富士山学習が実施されてきました。

平成29年度用全体計画・年間指導計画が、地域に根付いた富士山学習となるよう、各校での富士山学習の実践・開発に役立てていただきたいと思います。